

# 地域社会の一員として活動できる子の育成

おい町立名田庄小学校

## 1 取り組みの概要

### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	2回
地域及び家庭への学校公開	5回(のべ) 5日

### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	
10	人
授業ボランティア(含む:低ボラ)	
100	人
登下校支援ボランティア	
760	人
その他( )	
	人

### (3) 特色ある活動

テーマ 「ふるさと教育」

## 具体的活動内容

### 『親子ふれあいチャレンジ教室』

恒例の行事として、PTAと地域が連携した行事、「親子ふれあいチャレンジ教室」を10月16日(日)に実施した。普段できないような活動を子どもと保護者がいっしょに行うことによって心に残る体験をしてもらおうという目的で、地域の方を講師として招き、「竹細工」、「和太鼓」、「染め物」、「紙漉き」、「ネイチャーゲーム」、「理科」、「ニュースポーツ」、「炭焼き」、「ハンドメイド」、「ロールケーキ作り」の10の教室に分かれて、親子で楽しく活動した。



(写真は染め物教室)

### 【炭焼き教室の感想】

子:火が大きかったり、小さかったりなかなかむずかしかったです。最後に食べたサツマイモは最高でした。

親:時間をかけ協力し合いながらいろんな工程を経て炭が完成。松ぼっくり、すすき、竹、栗それぞれのおいしい味ができました。熱かったけど、いい体験でした。

### 【染め物教室の感想】

子:お母さんといっしょに作りました。ぼくはさくらのがらにしようと思いました。ひいばあちゃんにあげようと思って、青色にしました。

親:はじめて染め物教室に参加して、たいへん楽しい時間を過ごすことができました。最初の布地の柄と染めたあとの印象がまったく違い、これも魅力の一つでした。

### 【ネイチャーゲームの感想】

子:初めて竹とんぼとばしをしました。ぼくが2mでお母さんが4mでした。表面がすべすべした石も見つけました。

親:自然の中を歩き、赤く色づき始めた紅葉やたくさん落ちていた栗をみて、秋を感じることができました。子どもと久しぶりにあれこれ言いながら歩き、本当に貴重な時間でした。

## 成果と課題

どの教室も親子でとても充実した活動を行うことができた。

PTA文化委員会での計画段階では、名田庄地域に伝わる県無形民俗文化財の「文七踊り」を予定していたが、今年も参加希望者が少なく見合わせになってしまった。またあらかじめ希望をとると、教室によって偏りが生じることもある。協議会などでいいアイデアをいただきたいと思っている。

